

平成24年8月2日

各位

第1回標準マスター共用化サブWG議事次第

標準マスター共用化サブWG

山田 修

開催日時：平成24年8月2日(木) 9時30分～12時

開催場所：医療情報システム開発センター 会議室

【議題】

1. 「頻用コード表」作成のため基本的な考え方(ユースケース)

ユースケース：「頻用コード表」がどのような目的か、どういった使い方をされるのかにより、網羅すべき項目範囲と公開手段が左右される。

例えば、利用目的については事業所間での電子的結果報告なのか、JLAC10を用いた臨床検査DBの構築などがある。

- ・各委員の立場より

2. 「頻用コード表」作成手順について

掲載項目：抽出(絞込み)方法と対象項目

① 既存の項目セットの利用

- ・MEDIS「まとめ表」
- ・JSLM「運用コード表」

② 既存事業の流用

- ・各種コントロールサーベイ
- ・診療検査基盤整備事業(前回資料)

③ 独自作成

3. 「頻用コード表」の入力項目について

資料1 項目比較

資料2 コード素案

4. 今後のスケジュール

5. その他

【配布資料】

資料1：項目比較

資料2：コード素案

資料3：臨床検査マスターについて

以上